

地球社会基盤学専攻	研究分野	地球物理学	Lab. ID GC18
研究室Webサイト	平松良浩 隅田育郎 遠藤徳孝	<a href="https://seismolab.w3.kanazawa-u.ac.jp">https://seismolab.w3.kanazawa-u.ac.jp</a> <a href="https://sites.google.com/view/geodynlab">https://sites.google.com/view/geodynlab</a> <a href="http://earth.s.kanazawa-u.ac.jp/~EndoLab/">http://earth.s.kanazawa-u.ac.jp/~EndoLab/</a>	
<b>研究課題の概要</b>			
地球物理学グループでは、地球や惑星で起こるダイナミックな現象を理解するために、モデル実験や観測データ（地震波形、重力異常、地形など）の解析、数値シミュレーションなどを用いて、地震・火山現象、粉粒体、複雑流体が関わる現象の物理の解明、地球や惑星の地形の発達過程などに関する研究を行っています。			
<b>博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等</b>			
博士前期課程や博士後期課程での研究テーマについては、本人の希望を尊重し、指導教員と相談の上、決定します。博士前期課程では標準の授業に加えて、各研究室やグループ全体のセミナーで研究報告や英語論文の紹介などを行います。研究成果については、平均すると年に1~2回国内の学会で発表を行います。さらに、博士前期課程在学中に研究成果を国際学会で1回は発表することや学術論文として投稿することを推奨しています。博士後期課程では標準の授業の他、各研究室およびグループ全体のセミナーで発表を行います。また、定期的に関催される国内外の学会で積極的に発表することが求められます。博士論文を提出するためには、英文国際誌への学術論文の発表が必須です。			
<b>研究室生活の紹介等(院生からのメッセージ)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算機や実験装置などには不自由することなく、充実した研究を行うことができます。</li> <li>・ 先生との距離が近いので、研究に関するアドバイスなどが得られやすい環境にあります。</li> <li>・ 研究に関しては先生との立場が対等で、意見などが言いやすい環境です。</li> <li>・ 学生一人一人の性格を見て、適した接し方をしてくれるので、自分のペースで研究ができます。</li> <li>・ 学生同士でも学年関係なく仲が良かったため、研究だけではなく私生活でも近い距離にあり楽しく毎日を送ることができています。</li> </ul>			
<b>教員からのメッセージ</b>			
研究室に所属する院生に求められることは、自発的に研究に取り組むことです。大学院での研究活動を通じて、自ら課題を設定し、それを解決し、結果をまとめ、他者に分かるように発表する能力が身に付くでしょう。他大学から博士前期課程に入学してくる人はときどきいます。社会人で博士課程に入学する人もいます。博士前期課程修了後は、公務員、情報系・資源系などの民間企業に就職する人が多いです。博士後期課程に進学する人もいます。博士号取得後は国内の研究機関の博士研究員を経て、公的機関の専門職や民間企業に就職しています。			
研究室連絡先メールアドレス	平松良浩 <yoshizo *at* staff.kanazawa-u.ac.jp> 隅田育郎 <isumita *at* staff.kanazawa-u.ac.jp> 遠藤徳孝 <wisteria *at* staff.kanazawa-u.ac.jp>		